多摩中央公園のリニューアル内容が決まりました！改修説明会にご参加ください

平成30年度から市民の皆さんと検討してきた多摩中央公園のリニューアルについて、これまでの意見交換会やオープンハウス、園路舗装アンケートなどでいただいた多くのご意見も踏まえ、改修内容を決定しました。

リニューアル後は、今ある多摩中央公園の雰囲気を残しつつ、施設や樹木の改修・整備により明るく、より快適な空間になります。また、「遊びの森」や公園を眺めながら飲食ができるカフェ・レストランを整備し、誰もが楽しみ誇れる公園に生まれ変わります。

令和５年３月の工事開始に向け、リニューアル内容を、公園の改修整備・運営を行う事業者であるTAMAセントラルパークJVが説明します。

日１月22日㈰午後２時～４時、25日㈬午後６時～８時、28日㈯午前10時～正午（いずれも同じ内容）場パルテノン多摩会議室１定各100人（先着順）申当日直接会場へ

●園路の舗装方法が決まりました

11月5日～12月5日に実施したアンケートの結果、既存の白河石を活かし、目地補修により凹凸を減らす舗装方法に決定しました！

集計結果の詳細は、公式ホームページをご覧ください。アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。

▲アンケート結果はこちら

●今後の予定

令和５年３月＝プレイスメイキング（社会実験）実施・工事開始

令和７年１月＝リニューアルオープン（全面供用・指定管理開始）

問TAMAセントラルパークJV☎050（3665）6406、市役所公園緑地課☎（338）6953

説明会の詳細はこちら▶

遊歩道の街路樹環境について一緒に考えませんか
市道６－10号歩線（鶴牧東公園沿い遊歩道）意見交換会

この遊歩道は、植樹帯のために歩行空間が狭くなっていたり、植栽が茂って暗がりができていたりするなどの課題があります。そのため、令和５年度以降、一部区間の街路樹を試行的に更新（間引き・樹種変更など）する予定です。

この遊歩道は、「多摩市街路樹よくなるプラン改定版」における改善モデル路線の１つのため、同様の課題がある他の路線のモデルケースになります。どのような方法で街路樹を更新していくのがよいか、グループに分かれて検討します。ぜひご参加ください。

日２月18日㈯午後１時～４時場現地確認後、徒歩でからきだ菖蒲館へ（集合場所などの詳細は、参加者に通知）対市内在住・在勤・在学者定40人（申し込み先着順）申問１月６日㈮～27日㈮必着の、公式ホームページのインターネット手続き・電話・郵送・ファクシミリまたは直接持参で、住所・氏名・電話番号・生年月日を記入し、〒206－8666市役所東庁舎２階道路交通課☎（338）6864、FAX（339）7754へ（ファクシミリの場合、送信後に要電話連絡）

シリーズ第3回 地域協創のすすめ

自分のため、みんなのための多世代共生型コミュニティづくり

問企画課☎（338）6813、FAX（337）7658

市は、多世代がゆるやかにつながり、互いに助け合い、支えあう地域社会づくりを目指して、「市民・地域と行政との新たな協働のしくみ（地域協創）」を検討しています。

このシリーズでは、地域でのさまざまなつながりをきっかけに困り事が解決したり、地域が興味のあることに挑戦する場となったりした事例を織り交ぜながら、安心して、楽しく暮らせる地域社会の実現に向けた取り組みをご紹介します。

今回は、自治推進委員会に参加したことをきっかけに、都心で仕事をしながらもゆるやかな地域参画を始めた丸茂さんのインタビューをお届けします！

「まち」とゆるく関わりたい！地域の子どもと遊ぶことも地域活動の一歩

丸茂　嶺介さん
多摩市在住歴　10年目
職業　会社員

Q 地域とのつながりを持つことになったきっかけは何ですか？

多摩市での日常生活に満足している一方で、もう一歩、地域と関係を築くことにより新たな発見があるのではないかと思い、自治推進委員会の委員に応募したことです。

自治推進委員会とは？

自治基本条例に基づき、これからのまちづくりについて審議し具体的な提案を行う委員会（学識者２人・市民委員４人）です。

詳細はこちら▼

Q 都心勤めの合間に地域と関わる中で、苦労したことや課題に感じたことは何ですか？

やはり、仕事や家族との時間のバランスですね。地域でやりたいことや参加してみたい魅力的な活動はいろいろあるのですが、時間を確保できないのが悔しいです。周りにもそうした方は多く、そもそも情報がきちんと届いていないのではないかと感じました。

Q 地域と関わりを持つようになったことで、得られたものはありますか？

自治推進委員会を通して地域の人や活動を知り、つながりができたことで、以前からやってみたかった、地域の方と交流しながらのごみ拾いや清掃活動を実現することができました！　また、活動をきっかけに仕事の考え方や視野が広がり、担当業務の役に立った他、多摩市をフィールドとして自社のイノベーション推進部署との連携を始めました。

Q 今後地域でやってみたいことはありますか？

100の地域活動をする１人より、１の地域活動をしている100人がいる多摩市になるといいなと思います。例えば、ごみ拾いの活動を発展させて、個人が同じ色のごみ袋を持ち、ウオーキングや犬の散歩がてら好きな時間にごみ拾いをやってみるとか、普段の生活の中で無理なく取り組める地域活動を増やしていきたいですね。

市役所職員

地域協創について～丸茂さんの気持ちや想いの実現のために～

市は、市民の皆さんに、丸茂さんのように地域を知ってできたつながりを、仕事や普段の生活に役立ててほしいと思っています。自治推進委員会は、市民の皆さんが無理なく地域づくりに参加したくなるように、人と活動をマッチングして、地域の多様な市民・主体をゆるやかに【つなぐ】機会や場について検討しています。

しくみの検討状況▼